8月
2020年
152号

地域共創・未来共創の大学へ

広報 沖縄大學

発行
沖縄大学経営企画室
〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555
☎ 098(832)2910
http://www.okinawa-u.ac.jp

沖縄大学
OKINAWA UNIVERSITY

新ロゴマークができました♪

学長室から02

「盛口満学長が最近考えていることは…」

想定外という言葉は好きではありません。
でも、まさに想定外の出来事の渦中にいるという思いがあります。
入学式は中止。始業後は自宅学習期間とし、遠隔授業を行う…こんな事態が起こるとは、まさに予想もしていませんでした。
今、振り返ると、記憶があいまいなところがあります。あまりの出来事の変化ぶりと、その対応におわれて、記憶容量を超えてしまったようです。
それでも、いくつかの重要な点は、記憶の中にとどまっています。遠隔授業という初めての事態に対して、何人かの先生方がいち早く、
その対応策を考えてくださり、他の教員にその技術や知識を惜しみなく伝えてくださったことが、何よりも大きな力となりました。
また通信機器が不備の学生に対してのPCやルーターの貸し出しへの取り組みも、実現することができました。
コロナはまだ終息していません。今後もまた、「想定外」の事態が起こりうると思います。
しかし、想定外のことが起こるという体験は、しっかり私たちの中に刻まれました。
その経験値を活かして、乗り切りたいと思います。ちょうど、大学の新しいロゴも決定されました。
カジマヤー（風車）をモチーフとしたロゴは、コロナのような強い風も、受け流し、
あらたな回転を生む力へと変えることを宣言するものといえそうです。

新ロゴマーク完成にあたって

沖縄大学
OKINAWA UNIVERSITY

OKINAWA
UNIVERSITY

本学では、昨年度より、伝統的な校章に加えてさまざまな場面で活用できる新たなロゴマークの検討を進めてきました。新型コロナウイルスの影響で社会的に困難な状況が続く中、新ロゴマークをいつ公開すべきが悩みましたが、先の見えない今だからこそ、沖縄大学の学生や教職員が前を向いて進んでいくための旗印、シンボルとして、このロゴマークが活用できると考え、6月10日の本学創立記念日に皆様にお披露目する運びとなりました。

新ロゴマークのイメージソースは、カジマヤー（沖縄の風車）です。風車の中心を沖縄大学とし、6枚の羽根（学生、教職員、卒業生、地域の皆様、地元企業、沖縄を取り巻くあらゆる人々）に「変革を起こす風」「思いやりの風」「小さくとも優しい風」などの、多様な風があたることで、「新たな大きな風」が生み出され、沖縄大学という拠点から送り出されていくイメージです。

デザインカラーは、沖縄の水の循環（森に雨が降って川となり、川から海に水が流れ、海水が蒸発して雲となり、雲が雨となって森に恵みの水をもたらす）をイメージした、「緑から青」のグラデーションとなっており、そのさまざまな色合いは多様性を表現しています。

本学は今年で創立62周年を迎えました。97歳の長寿を祝うカジマヤーにあやかり、新ロゴマークと共に97周年を目指し、進化し続けたいと思います。厳しい状況に向かい合いながらも、未来に向けて、沖縄大学からさまざまな「新しい風」を送り出していけるよう、新ロゴマークを育てていきたいと思います。

（経営企画室　兼島徹主幹）

制作担当

株式会社ロフトワーク・アートディレクター

小川 敦子 さん

ロゴ制作に寄せて

この度は、貴学の象徴的なシンボルマークとなるVI/ビジュアルアイデンティティ及びロゴマークの制作という、大変重要な役割を務めさせて頂き、誠に光栄でございます。重ねて御礼申し上げます。VI設計を株式会社ロフトワーク・アートディレクター小川敦子が、ロゴマークデザイン設計を株式会社アレックスクリエイト本田篤司が務めさせて頂きました。

知と人の交流拠点となり、地域と共に生きながら、沖縄の未来の社会を創り上げていく。貴学の創設当時からの理念の核を象徴するものとして、風を起こす『カジマヤー』をモチーフに選び、未来の沖縄地域社会のためにも益々御発展されていかれますようにとの想いをデザインに込めさせて頂きました。

2019年度事業報告

沖縄大学は 2019 年４月から第五次中期計画がスタート、併せて、本学では初めての 10 年長期ビジョン（OKIDAI VISION 2028）もスタートしました。OKIDAI VISION 2028 では、「場」「教育･研究」「学生像」「新たな共創への挑戦」という４つのテーマを重点課題として掲げていますが、この４つの重点課題は、沖縄大学憲章「地域共創・未来共創の大学へ」で掲げた３つの目標（①地球市民のための知の集積の拠点　②地球環境・地域環境に貢献する教育研究　③共創力を育む大学教育への変革）を受け継ぎ、社会情勢に合わせ「新たな共創に挑戦する将来像」を加えたもので、2028 年に目指す具体的な将来像を展望しています。第五次中期計画は、沖縄大学憲章→長期ビジョン→中期計画という流れを一つの柱としており、短期計画（年度事業計画）で行動に移されることになります。また、第五次中期計画は、第四次の「基本戦略」を引き継ぎ、本学の持続的運営に不可欠な課題解決に取り組む計画を併せ持っています。中期計画の最初の年度にあたる 2019 年度の事業報告がまとまりましたので以下に概況を御報告致します。

1．新学部設置

健康栄養学部管理栄養学科が 2019 年４月にスタートしました。沖縄県、那覇市等と連携して開設された本学部は、沖縄県で唯一の管理栄養士養成機関です。沖縄の長寿社会を取り戻すために食と健康の面から地域の人々の健康を支える専門家の育成を目指します。

2．長期ビジョンの実現を目指して

2019 年度は、OKIDAI VISION 2028 “地域がキャンパス、地域のキャンパス―沖縄大学は「知」と「人」の交流拠点となります―”の実現に向けてスタートした年でした。長期ビジョンは本学の理念である沖縄大学憲章を具現化する将来像として策定されています。今後、長期ビジョンは創立 10 周年毎に改新し、５年間の中期計画２回（第五次・第六次中期計画）で実現していくことになります。

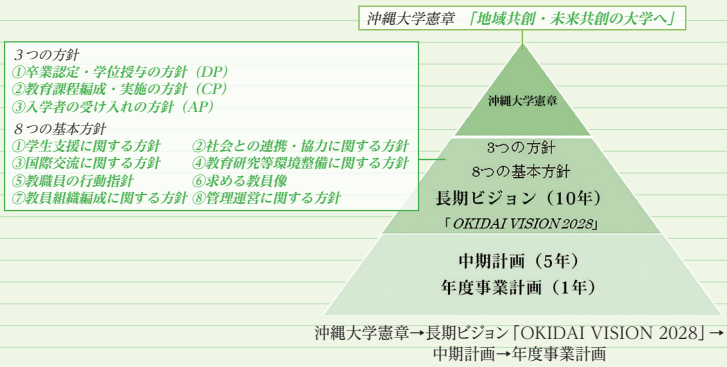
第五次中期計画は、課題の改善だけでなく、長所を伸ばし沖縄大学の特色を打ち出す計画となっており、沖縄大学憲章を実現するための「重点課題」と、大学の持続的運営に不可欠な事項に取り組む「基本戦略」の両輪で構成されています。「基本戦略」の各テーマは緊急的な対応策の面が強く、「重点課題」の各テーマは中長期的な取組の面が強いといえます。双方が補完し合いながら、沖大らしさを追求し、本学のあるべき姿をじっくり創っていきます。憲章へ向かう長期ビジョンを実現するための事業計画が着実に実施されることで、沖縄になくてはならない大学を創っていきたいと考えております。第五次中期計画の最初の年である 2019 年度は、学科、研究科、部課局等の部署のレベルにおいて「重点課題」と「基本戦略」の両面から計画を立て、事業に取り組みました。

重点課題

1.「沖大という場」
　～地球市民・地域市民の共育の拠点～
2.「沖大の教育・研究」
　～地球環境・地域環境に貢献する教育・研究～
3.「沖大の学生像」
　～共創力を育む大学教育への変革～
4.「沖大の新たな共創への挑戦」

基本戦略

A. 志 願 者 ･･･ 志願者を十分に獲得し、AP に基づく選抜を実現。
　※ AP（アドミッションポリシー）＝入学者受け入れ方針
B. 中 退 者 ･･･ 中退者を出さない教育と学生支援。
C. 社会接続 ･･･ 社会との納得できるつながりを作り卒業。
D. 経営基盤 ･･･ 激変する社会環境に柔軟に対応し得る組織改革と経営基盤の強化。



沖縄大学憲章→長期ビジョン「OKIDAI VISION 2028」→中期計画→年度事業計画

3．収支財政状況

2019 年度事業活動収入の合計は 2,098 百万円（前年比 209 百万円減、予算比 27 百万円増）、事業活動支出は 2,208 百万円（前年比 172 百万円増、予算比 21 百万円減）となりました。

基本金組入前当年度収支差額はマイナス 109 百万円となりましたが、そのうち土地処分差額によるマイナスが 53 百万円あり、本業である教育活動収支差額は、マイナス 52 百万円でした。収入においては、学生募集が好調であったこともあり、学生生徒納付金収入が予算比 19 百万円増となりました。一方、支出では、新学部（健康栄養学部）の開設に伴い、新たに教員・助手を 14 名採用したことによる人件費、新学部に係る教育研究経費が増えました。新学部の開設においては、支出（人件費増：初年度で大多数を採用）と収入（学納金：１学年ずつしか増えない）のアンバランスにより、2020 年度までは支出超過を見込んでいます。

今年度の事業活動収支差額比率は、マイナス 5.2%です。同比率の推移を見ますと、2014 年度 8.0%、15 年度 4.5%、16 年度 9.3%、17 年度 4.7%（借地権除却の特殊要因除く）、18 年度 11.8% となっており、いずれの年も黒字を確保しておりましたが、前述の通り、今年度は新学部の開設に伴いマイナスの比率となりました。新学部の完成年度（３年後）までは収支不均衡が続きますが、教育活動での安定的な収入確保により 10%以上を回復・維持できるよう、基本戦略を意識した取り組みによる入学者の安定確保、経費の見直し等を行い、教育環境の維持改善に努めてまいります。

4．大学認証評価への取り組み

全ての国公私立大学は、７年ごとに大学認証評価を受審することが義務付けられております。本学は 2020 年度の受審に向けて、2019 年度はこれまで６年間の内部質保証の取り組みを総括的に自己点検・評価する年となりました。「中長期計画・自己点検委員会」は、各部署が行う点検・評価活動を支援し、それらの結果をもとにした全学レベルでの「2019 自己点検・評価報告書」をとりまとめました。こうした作業の中で、改めて、本学は自学の理念を実現する取り組みと地域に根ざす大学であることに際立った特色を有する大学であることを確認しました。また、2019 年度から学習成果を可視化する取り組みが始まり、授業評価をもとにしてより良い教育プログラムづくりを行っていることを分かりやすくしていこうとしています。教育に最も力を入れている本学の取り組みを全学的に確認し、また地域に紹介していくことにも弾みがつくことになると期待しています。

節目の年、2020年度新学期の様子

学に迎え、各学科でオリエンテーションや履修登録を行い、講義の準備をはじめました。その後県内でも感染が広がり、２週目の講義の学びのサポートも行い、学生たちの健康状況等も確認しながら、わかりやすく伝わる講義をと、先生方も工夫しながら進めていきまし

経法商学科

豊川明佳先生の専門講義＆ゼミ

豊川先生は専門講義の資料を作成後、パソコンで収録し、ネットにアップ。その動画を学生にマイクロソフトストリームを使ってネット視聴をしてもらう講義スタイルで進めていました。

視聴したあとは、課題もグーグルフォームで提出してもらい、きちんと学生が習得できているか集計するなど、IT スキルを活かした講義を行っていました。

また、ゼミの講義においては、大城淳先生との対談方式で授業を進め、いままでやったことがないことにチャレンジしたと話します。この日の講義は「あなたは何のために生きている？」という題について、それぞれの研究を交えながら、学生に説いていく内容で、息の合ったやり取りが繰り広げられていました。講義を受けた学生からは「夫婦漫才のようだった」、「普段の講義ではわからない先生のキャラクターや面白いところがわかり、親近感がもてた」など高評価だったようです。

国際コミュニケーション学科

渡邉ゆきこ先生のオーラル中国語Ⅰ

１年生対象「オーラル中国語Ⅰ」渡邉ゆきこ先生の講義は Teams を利用して行っていました。インターネットを使った効果的な学習法を研究している渡邉先生、対面講義からリモート講義に代わってもそれほど支障なく、授業を行えているようです。この日は「自分の名前を伝える」についての学習でしたが、音読練習ができるシステム ST Lab を使って、指導を行っていました。Teams の機能「手をあげる」や「会議チャット」を利用するほか、スマホなどを利用して自撮り自己紹介動画の提出を求め学生がきちんと理解しているかなどをチェック。学生も発音練習に励んでいました。

こども文化学科

学長･盛口満先生の3年次ゼミ

小学校教員を目指すこども文化学科の盛口ゼミは毎年９月に石垣市白保小学校を訪問して、学生がこどもたちに授業を行う交流を2011 年より続けています。今年は新型コロナウイルスの影響で検討中ですが、可能な限り実施できるようにとゼミ内では授業案の準備を続けています。この日のゼミでは２名の学生が授業案を発表、「紫外線や可視光線、赤外線について」、「植物の毒について」、工夫を凝らした講義を発表していました。今後の学校現場でもニーズが高まるであろうリモート講義の実践でもあります。学生たちは工夫しながらわかりやすい資料づくりも心掛けているようでした。発表後は、先生から良かった点や改善点等、指導が行われ、６月からのゼミ活動でより深めていくべき点を確認しあっていました。

「経法商学部」新たなスタートをきった

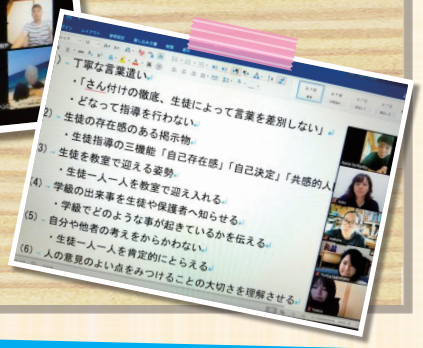
新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、残念ながら入学式は中止となりましたが、今年度652名（大学院含む）の新入生を沖縄大以降は対面での講義から自宅学習やリモート講義に代えて実施しました。

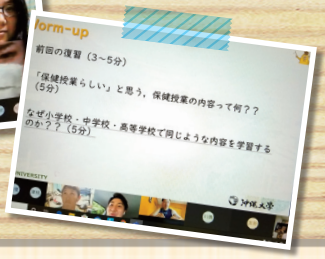
パソコン機器やネット環境が自宅にない学生にはマルチメディア教育研究センターからノートパソコンやWi-Fi機器等を貸し出し学生た。いくつかの講義の様子をお伝えします。

国際コミュニケーション学科

黒木義成先生の教職ゼミ

黒木ゼミは将来中学校や高等学校の教員を志す学生が多く所属しています。zoomを利用しての講義は、学生の１週間の近況確認からはじまり、この日は「学級経営構想」について発表が行われました。新型コロナウイルス感染防止への配慮などから今後考えられる学校現場の変化にも触れられ、これまでとは違う生徒の心のケアも必要になるのではないかなど話が及んでいました。「このクラスにいてよかったと思える学級づくり」や「教育することはほめること」など先生からの学級経営に大事なポイントについて指導を受けた学生たちは、今後、教育実習を控えているだけに真剣に意見を出し合い、学びを深めていました。





福祉文化学科

嘉数健悟先生の保健体育科教育法Ⅲ

中学校・高等学校の体育教員を目指す学生が履修するこの講義は、保健の授業について、学習指導要領に解説された小中高の学習内容についての理解、日本と他国との違いなどについて意見交換をしながら理解を深める学習が行われていました。

対面講義以上にリモート講義では学生一人一人の表情がわかりやすく、学生が内容を理解しているか、考えがまとまっているのかなど、その様子が把握しやすいようです。

管理栄養学科

我那覇ゆりか先生の1年次問題発見演習ゼミ

１年生のこの講義では、大学生としての基礎知識について学んでいます。この日の講義では学術論文の情報収集の仕方について学びました。１年生にとってはリモート講義で大学生活がはじまり、慣れない中での講義で緊張した様子が感じられましたが、我那覇先生が学生ひとりひとりの得意分野やキャラクターを把握していて、学生の興味をひくような話題につなげての講義展開となっていました。ちなみに、我那覇先生のパソコンのデスクトップは沖縄の重箱料理の写真でした。

実験の講義も６月からは開始しています！

紹介させていただいた以外にも本学の先生方は、コロナ禍の時世において、さまざまな講義への取り組みを重ねられていました。今後も県内での発症者数を注視し、本学の活動制限指針に照らし、対応していく予定です。

おうちで相談会&おうちでオープンキャンパスを開催しました！

今年はコロナウイルスの影響で、進学ガイダンスやオープンキャンパスが通常開催できず、直接説明を聞く、直接キャンパスを見るといった機会が減ったため、少しでも沖大の「情報」をキャッチしてほしいと、本学では２つのオンラインによるイベントを開催しました！

おうちで相談会

参加方法は、入試広報室の LINE へ質問を送るだけです！
よくある質問は、「○○学科の強みは？」「公務員試験対策講座ってなに？」「今できる入試対策は？」など。「LINE は気軽に参加しやすい」との声が多く、連日たくさんの方からご質問を頂きました！

おうちでオープンキャンパス

SNS のインスタで、オープンキャンパスのライブ配信を行いました。
内容は、各学科の教員による学科説明、入試説明、学生交流会 。その中でも学生交流会をメインとし、事前に高校生から頂いた質問に現役学生が回答。「どんな入試対策をした？」「面接で気をつけたことは？」などの質問に、学生が本音で答えてくれました。どちらのイベントも申し込み不要で、高校生・既卒生・保護者・教員など、誰でも参加可能！県外の方もスマホ１つで気軽に参加できることは、オンラインならではのメリットです。
今後のイベント情報として、８月２日（日）に「おうちでオープンキャンパス Vol2」を行います！
今回はインスタだけではなく、ZOOM による配信も行い、より充実した情報を発信できればと思います。
申込方法などの詳細は、LINE やインスタでお知らせします。
本学ホームページの「沖大 PASS」より、LINE ＆インスタの登録、フォローをよろしくお願いします！

（入試広報室　上江洲光司主事）

FD 見聞学④（不定期連載）

遠隔授業と FD

マルチメディア 教育研究センター
センター長
経法商学部 准教授
八幡 幸司

2020 年度はいきなり遠隔授業から始まるという波乱万丈の幕開けであった。ここまでの遠隔授業の取り組みと「FD」としてみた遠隔授業について考えてみたい。

遠隔授業の取り組み

2020 年 3 月 18 日、経法商学部 FD 研修会「ICT 利活用セミナー」が開催された。その当時、すでに国内でも新型コロナウイルス感染症の状況が悪化し始めており、今後の遠隔授業に向けて ICT をどのように利活用できるか紹介を行った。本学ではすでに、Moodle, Google Classroom, Microsoft Teams が利用されており、実際の活用例を紹介した。その後、大城淳先生による「大城マニュアル」が作成され、教員有志によるチーム「遠隔授業対策チーム 2020（仮称）」が Teams 上で立ち上がった。

４月２日、教員有志とマルチメディア教育研究センターにより「遠隔授業・ウェブ会議等ポータルサイト」が開設された。遠隔授業の情報発信・共有の場として中心的に役割を担うこととなる。特に大城先生、城ヶ原貴通先生の対応の早さには驚かされた。

４月６日、FD 研修会「遠隔講義対応に向けての研修会」が開催された。遠隔授業を実施する際のコンテンツ作成や配信方法について紹介が行われた。この研修会に合わせて Teams 上にチーム「遠隔授業の情報共有」を開設した。遠隔授業を行う際のツールの相談やトラブル対応など、気軽に質問したり、情報共有したり、お互いに教え合う場である。現在専任・非常勤教員・職員も含め 117 名が参加している。これだけの専任・非常勤の教員が同じ空間で気軽に情報共有できる体験はこれまでなかったのではないだろうか。また、お昼休みを利用し、Zoom、Teams 会議、Google Meet などのオンライン会議システムの体験会を実施し、多くの教員が参加した。

当初、授業の１週目は対面授業で自宅学習期間のガイダンスを行い、２週目以降、自宅学習期間（遠隔授業）という予定であったが、実質１週目からいきなり自宅学習期間となってしまった。「遠隔授業・ウェブ会議等ポータルサイト」と Teams 上の「遠隔授業の情報共有」を準備しておいて良かったと思えた瞬間であった。また、豊川明佳先生のアイディアにより貸し出し用のノート PC、モバイルルータを確保し、現在も学生への貸し出しを実施している。学生への就学支援は沖縄県内でも一番早かった。これは沖縄大学のいいところだろう。

遠隔授業の可能性

これまでも ICT ツールを活用し、授業を運営してきたが、完全オンライン授業は初めての経験である。オンライン授業の準備は教員にとって、かなりの負担があるが、実はメリットも多数ある。今回は FD の視点で考えてみた。

これまでも他の教員の授業を参観するという機会はあった。しかし、なかなか時間が取れないものである。それが、オンデマンドタイプの遠隔授業であれば、いつでも授業参観が可能となる。これまでは時間が被っていて、どうしても参観できないこともあった。それもなくなる。実は、これは学生も同様で同じ時間帯で複数の受講が可能となる（現状のシステムでは無理であるが）。また、一度教材を作り込み、毎年教材作成の時間が減らせるならば、その分学生のサポートに時間をかけることが可能となる。但し、教材を作成する場合、複数年度使えるように工夫をする必要がある。実際、放送大学ではそのような工夫をしているそうだ。

６月以降、多くの授業では対面授業が始まった。しかし、オンライン授業もまだ混在している。また、いつ全面オンライン授業に戻ってもおかしくない状況である。これまでのオンライン授業を振り返ってみると、色々な課題もあった、次はぜひ改善したいと思う。今回の遠隔授業の取り組みを通して、色々な教員の教育実践、課題、悩みを知ることができた。またお互いに助け合い、ここまで頑張ってこれたと思う。これはまさに「FD」そのものではないだろうか。

ファカルティ・ディベロップメント（FD）とは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称です。
本学は、FD活動を企画立案し実施するFD委員会を置き、教員の教育能力の開発・向上に努め、その質的充実を図る取り組みを進めています。
本シリーズ「FD見聞録」では、そうしたFD活動を紹介していきたいと思います。

◆News&Topics◆

News&Topics 2020 5/24 ◆コロナに負けるな！カレー大作戦

沖縄大学の学生に支援をと、那覇市青年経済団体に所属する有志のみなさんによるカレーの無料配布が行われました。材料も主旨に賛同いただいた方々からの無償での提供ということで、この日は100食分のカレーだけではなく、自炊用にお米や必需品のマスクなども一緒に、学生たちに提供いただきました。

News&Topics 2020 6/24-26 ◆沖縄大学フードドライブ 344点の支援集まる！

福祉文化学科２年次の中山暉野さんが企画し、５人の有志で活動を行った「沖縄大学フードドライブ」は24日から３日間の日程で開催され、344点の食品が集まりました。

活動を終え、中山さんは「期待以上の協力を頂けた。新型コロナが収束したら、学外の方にも呼びかけて再度フードドライブを開催したい」と抱負を語りました。

News&Topics 2020 6/25 ◆「盛口＆喜屋武ゼミ×沖縄テレビ平良アナ」沖縄の課題について話し合う

盛口ゼミと喜屋武ゼミ合同で、沖縄テレビ放送の平良いずみアナウンサーをお招きしての講義が開催されました。講義では、平良アナウンサーが制作したドキュメンタリー映画のダイジェスト版を視聴し、そこから見えてくる沖縄の課題についてどう思うか、感じるかについて意見交換を行いました。

News&Topics 2020 7/13 ◆KOOTAと絵をかこう！国コム４年次比嘉康太さん保育園児と交流！

県内でアーティスト活動を行っているKOOTAこと、国際コムの比嘉康太さんが、宜野湾市の保育園で、交流イベントを開催しました。このイベントは、非常事態ともいえる新型コロナウイルス感染拡大中の自粛生活時に、自分自身が今後なにができるのかを比嘉さんが考え、『絵を通じて交流ができないか』ということで開催されたものです。約３時間の制作時間で年長組13名の園児と「動物」をテーマに、ひとつの作品を仕上げることができました。

長寿県復活を目指して③

新型コロナに負けない！ステイホームでも体重コントロールで長寿再生

健康栄養学部　管理栄養学科准教授　新垣 慶子

沖縄県の平均寿命（平成27年度）は全国男性36位、女性7位であり、その伸び率も低下しています。低下の大きな要因として、男女共に全国一肥満である働き盛り世代（30～64歳）のがん、心・脳血管疾患等による死亡率が高いことが挙げられ、これらの疾患の発症と肥満は強い関連性が示されました。そのため、県は肥満改善を重点課題に掲げ、「長寿再生をめざして」官民一体の取り組みを進めてきました。

ところが、予期せぬ新型コロナ騒動です。感染はあっという間に全世界に広がり、県内でも外出自粛を余儀なくされました。久しぶりに会うと、体重が増えた（巷ではコロナ太りと呼んでいる）という話しをよく耳にします。

今回は、ステイホームでも肥満を予防する食べ方のヒントを話します。

1. 結果を急ぐあまり、短期間の過激な減量や極端な食事制限は、身体に良くありません。リバウンドしやすく、拒食症、貧血などの弊害を起こす可能性があります。コロナに負けない健康な身体作りは地道に続けることが大切です。
2. 体重が増えた原因は十人十色。食生活を振り返ってみて、できそうなこと、長続きしそうなことを実践してみてください。

あなたのBMI（体格指数）は？太っている？

BMI値＝体重（kg）÷｛身長（m）×身長（m）｝
例：160cm・65kgの場合　65（kg）÷｛1.6（m）×1.6（m）｝＝25.39

□ BMIの判定基準を基にした体重表

BMI値 / 身長＼体重	18.5未満 低体重（やせ）kg	18.5以上25.0未満 普通kg	25以上 肥満kg
150cm	41.6kg未満	41.6～56kg未満	56kg以上
155cm	44.4kg未満	44.4～60kg未満	60kg以上
160cm	47.4kg未満	47.4～64kg未満	64kg以上
165cm	50.4kg未満	50.4～68kg未満	68kg以上
170cm	53.5kg未満	53.5～72.3kg未満	72.3kg以上

※男女とも15歳以上に適応（「日本肥満学会（2011年）による肥満の判定基準」より）

例えば

①食べ物、飲み物を少し減らす。
- 購入する市販弁当を少し小さいサイズへ、注文する麺類、丼物もワンサイズ小さくする。
- 自宅で常時使う御飯茶碗を小さいサイズへ、飲み物を入れるマイカップ、お酒のグラスを小さくする。

②同じ量なら食べ物や食べ方を変える。
- 白米を消化吸収の遅い玄米や雑穀米に変え、おやつを甘いものからナッツ類（アーモンド、くるみなど）に変える。飲み物をノンカロリーにする。
- 食べる順番を変え、野菜→肉魚などのおかず→ご飯にする。
- 朝食は抜かない、昼食はしっかり、夕食は軽く・早い時間（午後8時まで）に食べる。

食事だけで減量すると体脂肪だけでなく筋肉も減ります。健康な身体作りには運動も欠かせません。

研究のひろば

「『沖縄振興』のあり方を考える」

1972年5月15日に沖縄地域の施政権が米国から日本に返還されて今年で48年が経過しました。

返還以降、現在まで、沖縄地域は沖縄振興（開発）特別措置法等に基づき、様々な特別措置が設けられ、国策として「沖縄振興」が進められています。

沖縄県内の自治体は、日本の多くの自治体とは異なる「仕組み」の中で自治体運営を行ってきました。「本土との格差是正」と「民間主導の自立型経済の構築」に向けて各種取組が実施されてきたのです。

各種取組の成果はどうだったのでしょうか。社会資本整備に関しては大きな成果があり、「本土との格差是正」はおおむね達成されたといえるでしょう。一方、県民の生活レベルに関しては、「一人当たり県民所得」は依然として全国最下位（2016年度）であり、「子どもの貧困率」も全国の2倍という状況からすれば、依然として、「自立型経済の構築」は道半ばであり、県民の多くが安心して暮らしていける生活レベルにまで達していないといえるでしょう。

では、上記の目標が達成されていない以上、今後も国策として「沖縄振興」を進めるべきなのでしょうか。6月に投開票された沖縄県議会議員選挙に立候補したほとんどの候補者は、地元紙のアンケートに、2021年度で期限が切れる特別措置は維持すべきだと回答していました。これまで通り国策として「沖縄振興」を進めるべきだと考えているようです。

しかし、上記の成果というのは、1972年以降、日本の多くの自治体と異なる「仕組み」の下で自治体運営が行われてきた「結果」だともいえます。したがって、国策による「沖縄振興」という「仕組み」自体を疑ってみる必要もあるのではないでしょうか。

2022年には沖縄地域は日本に復帰して50年、半世紀を迎えます。あらためて県民が求める「沖縄振興」とはどのようなものなのか検討していく必要があると考えています。

その「沖縄振興」の実現に向けて、どのような「仕組み」が望ましいのでしょうか。その「仕組み」の中で沖縄県内の自治体や自治体職員に求められる役割とは…。これらの点について明らかにしていきたいと考えています。

経法商学部 経法商学科 講師
島田 尚徳

わが ゼミナール

人文学部 福祉文化学科 教授
名城 健二

自ら考えて行動する力

私のゼミ(3年生と4年生)は、「メンタルヘルス」を大きなテーマとして、各学生が関心のあるテーマを選びプレゼンを行ってもらい、その後ディスカッションという流れで進めています。今年度はこれまで、「コロナうつ」「主婦のメンタルヘルス」「SNS依存症」「育児ノイローゼ」などがありました。これらのテーマをディスカッションすることで、メンタルヘルスの知識を深めると同時に、社会で起きている様々な現象を知る機会とし、その解決方法を学生たちが作り出していくことを目標としています。

講義外のゼミ活動として、沖縄県の子どもの貧困対策への寄付金として学外でのリサイクルバザーや学内（生協と学食）で募金箱を設置し、毎年2月に行政機関へ集めたお金をゼミ生と届ける活動をしています。寄付金は、1万円～2万円と微々たる額ですが、何らかの形で社会貢献していくことを学生の時から学んで欲しいと思い続けています。

今回のコロナ禍においては、名城ゼミの卒業生が運営する就労支援事業所からの呼びかけで、マスク作成のための生地を集め事業所に届ける活動を行いました。作られたマスクは、医療機関へ無償で提供されました。過去には、2011年の東日本大震災の際に、ゼミ生と被災地の子ども達にノートや筆記用具などを送るために、学内の学生と教職員に呼びかけ多くの物品を送りました。

他には、毎年春休みに海外の病院や福祉施設の見学に行くことにしています。海外に行く機会が少ない沖縄の学生に、海外の福祉サービスを学んでもらうことはもちろん、異文化に直接触れることで、多様性（ダイバシティ）を受け入れ、自分自身も知る機会になればと思っています。これまでに台北やソウル、香港、マカオ、シンガポール、ニューヨークなどに行きました。

今後は、これまでの活動に加え、地域の障害者施設との共同で何らかの交流や活動ができないかと検討中です。学生には、ゼミ活動を通して、物事を見る力や周りの人と協力して何かをやり遂げる力を身に着けてもらいたいと考えています。

2019年度決算について

資金収支計算書

収入の部

（単位 千円）

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,655,000	1,674,777	△19,777
手数料収入	27,779	35,309	△7,530
寄付金収入	31,198	25,562	5,636
補助金収入	283,847	287,123	△3,275
資産売却収入	90,000	95,203	△5,203
付随事業・収益事業収入	49,707	47,586	2,121
受取利息・配当金収入	3,176	2,684	492
雑収入	19,761	20,018	△257
前受金収入	827,064	980,637	△153,573
その他の収入	180,932	81,558	99,373
資金収入調整勘定	△903,622	△904,432	810
前年度繰越支払資金	2,463,540	2,463,540	
収入の部合計	4,728,382	4,809,565	△81,183

支出の部

（単位 千円）

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,290,876	1,260,238	30,639
教育研究経費支出	564,220	528,866	35,355
管理経費支出	104,289	99,019	5,270
借入金等利息支出	11,212	11,203	9
借入金等返済支出	52,850	52,850	0
施設関係支出	394,000	202,155	191,844
設備関係支出	124,609	33,403	91,206
資産運用支出	67,000	67,648	△648
その他の支出	90,099	83,894	6,204
予備費	1,454	-	1,454
資金支出調整勘定	△74,581	△43,142	△31,439
翌年度繰越支払資金	2,102,354	2,513,431	△411,077
支出の部合計	4,728,382	4,809,565	△81,183

貸借対照表

資産の部

（単位 千円）

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	5,860,105	5,950,709	△90,605
有形固定資産	5,294,864	5,460,458	△165,594
特定資産	495,966	464,553	31,412
その他の固定資産	69,274	25,697	43,577
流動資産	2,528,231	2,552,525	△24,293
資産合計	8,388,336	8,503,234	△114,899

負債の部・基本金の部・消費収支差額の部

（単位 千円）

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,271,996	1,351,181	△79,185
流動負債	1,115,439	1,041,255	74,184
負債合計	2,387,436	2,392,437	△5,001
基本金	7,217,283	7,090,503	126,780
繰越収支差額	△1,216,382	△979,705	△236,677
純資産合計	6,000,900	6,110,797	△109,897
負債及び純資産の部合計	8,388,336	8,503,234	△114,899

事業活動収支計算書

【教育活動収支】

（単位 千円）

科目	予算	決算	差異
教育活動収入の部			
学生生徒等納付金	1,655,000	1,674,777	△19,777
手数料	27,779	35,309	△7,530
寄付金	31,198	25,597	5,602
経常費補助金	280,204	283,480	△3,276
付随事業収入	49,707	47,586	2,121
雑収入	19,761	20,015	△254
教育活動収入計	2,063,649	2,086,763	△23,114
教育活動支出の部			
人件費	1,298,298	1,266,134	32,164
教育研究経費	754,378	767,965	△13,587
管理経費	106,637	104,966	1,671
徴収不可能額等	0	414	△414
教育活動支出計	2,159,314	2,139,479	19,835
教育活動収支差額	△95,665	△52,715	△42,950

【教育活動外収支】

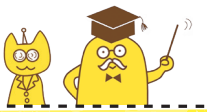
（単位 千円）

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	3,176	2,684	492
教育活動外収入計	3,176	2,684	492
事業活動支出の部			
借入金等利息	11,212	11,203	9
教育活動外支出計	11,212	11,203	9
教育活動外収支差額	△8,036	△8,519	483
経常収支差額	△103,701	△61,234	△42,467

【特別収支】

（単位 千円）

科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部			
資産売却差額	0	12	△12
その他の特別収入	3,643	8,758	△5,115
特別収入計	3,643	8,771	△5,128
事業活動支出の部			
資産処分差額	57,431	57,007	424
その他の特別支出	0	426	△426
特別支出計	57,431	57,433	△2
特別収支差額	△53,788	△48,663	△5,125
（予備費）	1,454		1,454
基本金組入前当年度収支差額	△158,942	△109,897	△49,045
基本金組入額合計	△166,217	△126,780	△39,437
当年度収支差額	△325,160	△236,677	△88,483
前年度繰越収支差額	△979,705	△979,705	0
翌年度繰越収支差額	△1,304,865	△1,216,382	△88,482
（参考）			
事業活動収入計	2,070,468	2,098,217	△27,749
事業活動支出計	2,229,410	2,208,114	21,296



2020年度予算について

資金収支予算書

収入の部

（単位 千円）

科目	本年度予算	前年度予算	増・減
学生生徒等納付金収入	1,772,000	1,655,000	117,000
手数料収入	29,207	27,779	1,428
寄付金収入	33,603	31,198	2,405
補助金収入	295,000	283,847	11,153
資産売却収入	85,000	90,000	△5,000
付随事業・収益事業収入	43,007	49,707	△6,700
受取利息・配当金収入	3,355	3,176	179
雑収入	68,226	19,761	48,465
前受金収入	950,947	827,064	123,883
その他の収入	112,415	180,932	△68,517
資金収入調整勘定	△1,033,378	△903,622	△129,756
前年度繰越支払資金	2,513,432	2,463,540	49,892
収入の部合計	4,872,814	4,728,382	144,432

支出の部

（単位 千円）

科目	本年度予算	前年度予算	増・減
人件費支出	1,403,984	1,290,876	113,108
教育研究経費支出	585,957	558,174	27,783
管理経費支出	107,961	101,789	6,172
借入金等利息支出	10,309	11,212	△903
借入金等返済支出	52,850	52,850	0
施設関係支出	397,500	394,000	3,500
設備関係支出	124,542	124,609	△67
資産運用支出	31,000	67,000	△36,000
その他の支出	67,745	90,099	△22,354
予備費	160,000	10,000	150,000
資金支出調整勘定	△132,086	△74,581	△57,505
翌年度繰越支払資金	2,063,052	2,102,354	△39,302
支出の部合計	4,872,814	4,728,382	144,432

事業活動収支予算書

（単位 千円）

		科目	本年度予算	前年度予算	増・減	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,772,000	1,655,000	117,000	教育事業での収支
		手数料	29,207	27,779	1,428	
		寄付金	33,603	31,198	2,405	
		経常費等補助金	295,000	280,204	14,796	
		付随事業収入	43,007	49,707	△6,700	
		雑収入	68,226	19,761	48,465	
		教育活動収入計	2,241,043	2,063,649	177,394	
	事業活動支出の部	人件費	1,353,366	1,298,298	55,068	
		教育研究経費	807,256	748,332	58,924	
		管理経費	112,659	104,137	8,522	
		教育活動支出計	2,273,281	2,150,767	122,514	
	教育活動収支差額		△32,238	△87,118	54,880	
教育活動外収支		科目	本年度予算	前年度予算	増・減	教育事業外の収支
	事業活動収入の部	受取利息・配当金	3,355	3,176	179	
		教育活動外収入計	3,355	3,176	179	
	事業活動支出の部	借入金等利息	10,309	11,212	△903	
		教育活動外支出計	10,309	11,212	△903	
	教育活動外収支差額		△6,954	△8,036	1,082	
	経常収支差額		△39,192	△95,154	55,962	
特別収支		科目	本年度予算	前年度予算	増・減	
	事業活動収入の部	その他の特別収入	0	3,643	△3,643	
		特別収入計	0	3,643	△3,643	
	事業活動支出の部	資産処分差額	47,364	57,431	△10,067	
		特別支出計	47,364	57,431	△10,067	
	特別収支差額		△47,364	△53,788	6,424	
（予備費）			160,000	10,000	150,000	
基本金組入前当年度収支差額			△246,556	△158,942	△87,614	
基本金組入額合計			△206,819	△166,218	△40,601	
当年度収支差額			△453,375	△325,160	△128,215	
前年度繰越収支差額			△1,216,383	△979,705	236,678	
翌年度繰越収支差額			△1,669,758	△1,304,865	364,893	
（参考）						
事業活動収入計			2,244,398	2,070,468	173,930	
事業活動支出計			2,490,954	2,229,410	261,544	

経常的な収支バランス

臨時的な収支バランス

沖大の魅力に迫る

沖大散策 vol.3

沖大キャンパスには貴重な美術品等が数多くあります。さまざまな人の思いが込められた作品についてきちんと語り継がれるように、広報誌にて取り上げ紹介しています。

今回は本館の応接室に飾られている謝花雲石著の額装についてです。

この額装は2019年3月に沖縄大学創設者の嘉数昇先生のご子息である現後援会名誉会長の嘉数昇明さんより、沖縄を代表する書家謝花雲石先生の作品を多くの人に見ていただければとの思いからご寄贈いただいたものです。

嘉数家の一室に長年飾られていた一品。約50年ほど前に書かれたものであろうとのことで、汚れや染みもありましたが県内でも数人しかいない文化財修復・表装を手掛けている當間巧さんにより、新たに命を吹き返した形で、沖縄大学の応接室に飾られています。

當間さんはこれまで約25点の謝花雲石先生の作品を修繕していて、現在も2点の作品を手掛けられています。表具師として3代目の當間さんは、初代のおじい様のころから謝花雲石先生とのお付き合いがあったということで、謝花雲石先生についてお伺いしました。

謝花 雲石 氏

1883年4月1日～1975年2月21日
享年93歳

戦後沖縄を代表する書家。
主な作品に「恩納ナベ記念碑」、「沖縄県庁表札」「玉城朝薫二百年祭記念碑」等。
1967年　沖縄タイムス芸術選賞大賞を受賞。
1969年　勲五等瑞宝章を授賞。

沖縄県立博物館・美術館収蔵

取材当時も當間さんは2点の謝花雲石作品の修復を手掛けられていた

石川堂 表具師 當間 巧さん

『有名な書家、謝花雲石先生の作品を知る機会が増えること、とてもうれしく感じます。これを機会に書を見る機会を増やしていただき、その作品の言葉の意味などを考えながら見ていくのも面白いと思いますよ。』

Q 謝花雲石先生について

武士のような方だったようです。戦後の混乱が続くなかで書を勉強し、中国に行き学び、書をひろめるために活躍されたということでかなりご苦労があったとも聞いています。書だけでなく、墨絵もすばらしいんです。個展を継続的に開催し、お弟子さんをもってという書家は沖縄には雲石先生以外はいらっしゃらないのではないでしょうか。

90歳を超えても書き続け、力強い字もあれば柔らかい作品もあり、書の魅力を感じる作品ばかりです。

Q 沖縄大学に寄贈された作品の価値について

このような大きい作品はなかなか残っていないので、かなり貴重な作品です。バブルの時期であれば数百万の値が付いたと思います。

謝花雲石先生の墨絵

Q「萬國和陽」の意味や書かれた時期などについて

引首印や関防印などから推測すると、本作品は1967年～68年に書かれた作品と思われます。言葉の意味は「世界中の国々の暖かな日和」という平和に対する思いをこめて書いたと思われます。とてもおめでたい言葉です。

Q 県立博物館・美術館に保管されている作品と文字の並びが違いますがなにか意味があるのでしょうか

謝花雲石先生の弟子・大城民子先生に、お話を伺ったところ、文字の順番はそのときの気分で書かれていて、特に意味はないとのことです。

広報誌創刊から40年…

あの人はいま

　これまでに広報誌に掲載された方のいまを紹介する企画「あの人はいま」。今回は1992年に法学科に入学された「佐藤揚子」さんを紹介します。
　佐藤さんは、現在、韓国のソウルに在住し、韓国では規模の大きな短期大学ミョンジ専門大学で日本語を教えています。
　東京出身の佐藤さん。沖縄大学への進学が人生の転機となったという佐藤さんに今回はZOOMを利用して、お話を伺いました。

(9) 1996年(平成8年) 7月13日(土)　地域に根ざし、地域に

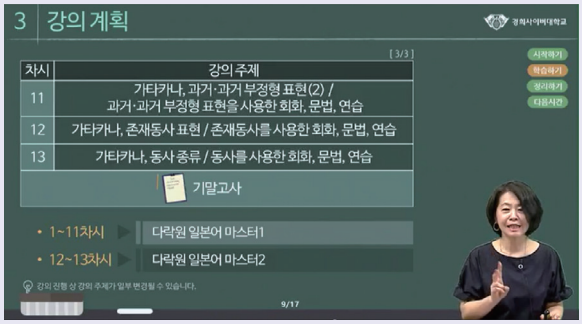
留学生報告

再見「中国」

佐藤 揚子
I部 法学科
(96年3月卒業)

Q 新型コロナウイルスの影響はいかがですか

　韓国はIT先進国なのでリモート講義への移行は学生さんにとっては負担なく講義を実施できていると思います。前期はすべての講義をリモートで行っている状況です。ただ、先生方は資料作成に追われていて、私も大変ではあります。自粛生活中は講義の資料作りに必死でしたから。



佐藤さんが非常勤講師を勤めるキョンヒサイバー大学でのリモート授業の様子

Q ミョンジ専門大学はどういう大学ですか

　韓国の中では大きい短大で、コンピューター専門の学科から、芸能分野や美容に関する学科などもあり5学部36学科、約七千百名の学生さんが学んでいます。そのなかの日本語学科で日本語を教えています。以前は韓流ブームの影響で、日本語を学べる学科は韓国内でもたくさんあったのですが、中国語に押されて、最近は減ってきている状況です。日韓関係が大きく左右しています。でも日本語を勉強したいという学生さんはとても日本が大好きで、素直でピュアな学生さんが多い印象です。そこは沖縄に似ている気がしています。情があって居心地が良いところは沖縄と韓国は似ているので約20年もこの国にいるのかもしれません。

Q なぜ大学進学時、沖縄大学に進学をきめたのですか

　高校生のときに、広い視野をもてるように、自立して遠いところに住みたいと思いました。北海道か沖縄かを悩み、暖かい沖縄の大学へ進学を決めました。それと同時に、東京で高校生をしている私にも、沖縄大学には宇井純先生や新崎盛暉先生がいらっしゃって、その活躍ぶりが届くほどでした。「なにか変わっている先生がいる！なんか面白そう！」と、勢いで進学を決めました。そのときの私の決断は私の人生の転機となったと思います。

Q どのような大学生活でしたか

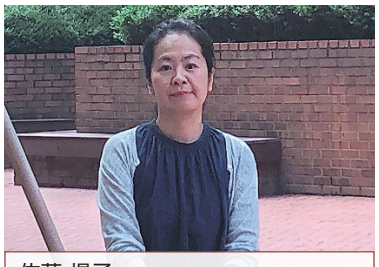
　沖縄に来られたうれしさを感じる日々のなかで、沖縄で教員になりたいなと大学3年までは思っていました。しかし大学4年次で訪れた中国での留学生活で日本語教師になりたいと思い、卒業後東京の大学院で学ぶことになりました。恩師に韓国で日本語を教えてみないかと勧められて、韓国での生活がスタートしたんです。第二外国語で中国語を学んだくらいの未熟な語学力でしたが、大学4年次で中国への1年間の留学を決め、韓国語もあまり話せないのに韓国で生活を始め、本当に勢いで進んできていますね。観光ビザで教えていたために、国外退去させられてしまったという苦い思い出もあります(笑)。韓国人と結婚し、20年も韓国にいます。

Q 今後の夢を教えてください

　新型コロナウイルスの影響もあり、オンライン教材の重要性を感じて、新しいツールでの日本語教材の開発を手掛けようと今はじめているところです。そして細く長く、韓国で教えていければというのが夢です。でも中国への留学経験のおかげで開けた道でもあるので、中国で教えてみたいという希望もあります。ニュースで取り上げられる中国には魅力は感じないのですが、留学時代に経験した多様性ある文化には惹かれるものがあるんです。

Q 沖縄大学に期待することは

　沖大の良さは、小さいけれど完成された空間で先生方もいろいろな先生がいて、いろいろ吸収できる環境です。是非、世界に発信できる力をつけて、沖縄にとどまらず世界へ飛び立つ学生さんが多く育ってほしいと思います。こういう時代になると、ネットで繋がることができ、沖縄は多方面で有利になるのではないかと思います。大きい、広いは関係ない時代になりましたから。
　実は4年前に、沖縄大学に行ってみたんですよ。ずいぶん変わっていました。本館も正門から入ってすぐの生協もなくなっていて。たまたま恩師の小西先生に出会い、声をかけたら、覚えていてくださって、お話しさせていただいたのがよい思い出です。図書館あたりは昔のままで懐かしかったです。
　これからもなにか沖縄大学の発展へのお手伝いができればと思っていますので、またよろしくお願いします。



佐藤 揚子さん

1996年　3月　沖縄大学卒業
1999年　4月　昭和女子大学 大学院入学
2000年12月　韓国へ

ミョンジ専門大学本館前

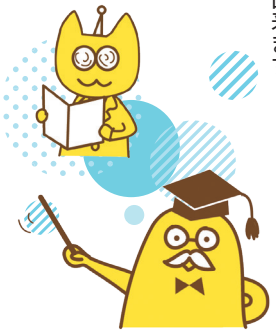
ミョンジ専門大学校門横

2021年度 学生募集

お問い合わせ先 入試広報室（電話098-832-3270）

学部

各入試とも願書受付開始日の1週間前（9時）よりWEB出願サイトで出願登録することが出来ます。



大学院

沖縄大学大学院・現代沖縄研究科には「地域経営専攻」と「沖縄・東アジア地域研究専攻」の2専攻があります。

昼夜・土曜開講制で原則として平日の6～7校時と土曜日の3～6校時に開講されます。2年間の就業年限を超えて、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する社会人等の志願者について、長期履修生（3年間）としての入学を認める長期履修制度もあります。

2021年度 沖縄大学 入試日程 学部

	願書受付期間（必着）	入試日
総合型選抜（9月）	2020年 9月30日（水）～ 10月5日（月）	2020年 10月16日（金）～ 10月18日（日）
総合型選抜（12月）	2020年 12月1日（火）～ 12月9日（水）	2020年 12月19日（土）～ 12月20日（日）
学校推薦型選抜	2020年 11月2日（月）～ 11月6日（金）	2020年 11月21日（土）～ 11月22日（日）
一般選抜（前期）	2021年 1月12日（火）～ 1月21日（木）	2021年 2月5日（金）～ 2月7日（日）
大学入学共通テスト利用入試（前期）		2021年 1月16日（土）～ 1月17日（日）
一般選抜（中期）	2021年 2月8日（月）～ 2月17日（水）	2021年 2月27日（土）～ 2月28日（日）
大学入学共通テスト利用入試（中期）		2021年 1月16日（土）～ 1月17日（日）
一般選抜（後期）	2021年 2月24日（水）～ 3月2日（火）	2021年 3月9日（火）
大学入学共通テスト利用入試（後期）		2021年 1月16日（土）～ 1月17日（日）

2021年度 沖縄大学 入試日程 大学院

	願書受付期間（必着）	入試日
AO入試（社会人特別）	2020年 9月1日（火）～ 2021年 1月20日（水）	第一次面談日は志願者と調整 ※1
一般入試（10月）	2020年 9月8日（火）～ 9月14日（月）	2020年 10月3日（土）
一般入試（2月）	2021年 1月25日（月）～ 2月1日（月）	2021年 2月20日（土）

※1「出願可」の通知後、原則2週間以内に出願すること

2021年度入試 募集定員

学科・専攻 ＼ 入試種別	総合型選抜（9月）	学校推薦型選抜		総合型選抜（12月）	一般選抜（前期）		一般選抜（中期）		一般選抜（後期）		合計
			専門・総合学科特別		一般	共通テスト利用	一般	共通テスト利用	一般	共通テスト利用	
経法商	55	60	5	25	24	28	10	7	3	3	220
国際コミュニケーション	20	20	2	10	10	7	5	2	2	2	80
福祉文化（社会福祉専攻）	30	18	2	5	5	4	4	3	2	2	75
福祉文化（健康スポーツ福祉専攻）	10	20			7	3	3	2			45
こども文化		20			14	10	4	2			50
管理栄養		28	2	5	23	10	10	2			80
合計	115	166	11	45	83	62	36	18	7	7	550

大学院

現代沖縄研究科

地域経営専攻 …… 5名
沖縄・東アジア地域研究専攻 …… 5名

保護者懇談会の開催について

本学では、学生の学業や学生生活などについて、教職員と保護者との個別面談を実施し、保護者の皆様と連携を密にしながらきめ細かな学生支援を行って参りたいと考え、保護者懇談会を開催致します。ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

今年度の開催日程は次の通りです。新型コロナウイルス感染症拡大の状況次第で下記の日程に変更が生じる可能性がございます。ご了承ください。

＜久米島地区＞ 8月27日（木） ホテル久米アイランド
＜宮古地区＞ 9月 9日（水） ホテルアトールエメラルド宮古島
＜八重山地区＞ 9月10日（木） アートホテル石垣島
＜北部地区＞ 9月15日（火） ホテルゆがふいん おきなわ
※上記会場、面談会 ▶ 18：00～19：00

＜中南部地区＞ 9月19日（土） 沖縄大学
※面談会 ▶ 14：00～16：30

お問い合わせ先：学生支援課 098-832-7182

沖縄大学への寄附について

使途指定の寄附金は、寄附者のご意向にかなった目的に使用させていただきます。 個人、団体、法人を問わずご賛同を賜り、沖縄大学のさまざまな活動において大きな力となっています。 ご支援をお考えいただける方は、ぜひ経営企画室までご連絡をお願いいたします。

【寄附の種類】
〈1〉新型コロナ：緊急学生支援
新型コロナウイルスの影響により、家計状況の急変や、学生本人のアルバイト収入の激減等、経済的に困窮している学生を支援します。
〈2〉奨学支援
〈3〉施設整備支援

メール：keiei@okinawa-u.ac.jp
FAX：098-832-0083
郵送先：〒902-8521
沖縄県那覇市字国場555番地 沖縄大学経営企画室 宛